

ゲートウェイ LS090

※ 以下記載の画面イメージは一部実際と異なる場合がございます。

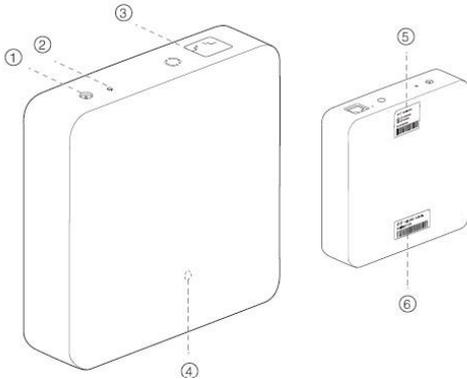
目次

ゲートウェイ LS090	1
● 作業の前にご確認いただきたいこと	2
1. 各部の名称と機能	2
2. 同封物について	2
3. 設置場所を確認する	3
4. ゲートウェイ専用スタンド	3
5. 多段接続ルーター環境（二重ルーター環境）へのゲートウェイ設置について	3
6. 上位ルーター等の設定について	3
● ゲートウェイを設置する	4
7. ゲートウェイの配線をする（電源を入れる）	4
8. インストーラーアプリでゲートウェイを登録する	5
9. インストーラーアプリでゲートウェイを削除する	5
10. インストーラーアプリでゲートウェイを交換する	5
● デバイスをリセットする	5

ゲートウェイ LS090

● 作業の前にご確認いただきたいこと

1. 各部の名称と機能



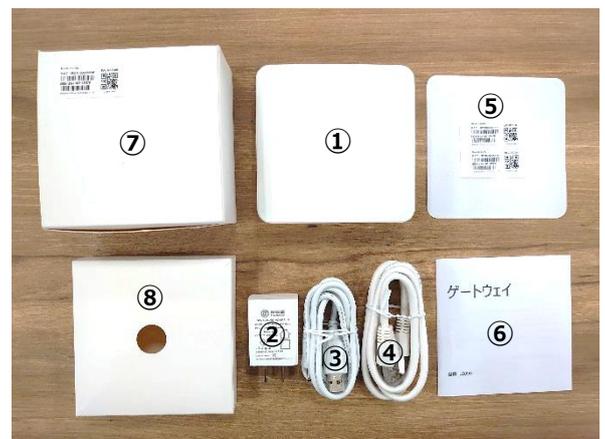
外寸 (mm)	本体 : 110.8 (W) × 110.8 (H) × 28 (D)
本体質量	120g
動作温度	-5℃ ~ 45℃
動作湿度	5~90%
電源	5V DC
電池寿命	-
通信規格	ZigBee、CoSS
対応 IP	IPv4
製造元	LifeSmart Inc.
製造国	MADE IN CHINA

- ① 電源アダプターポート：電源ケーブルを接続します。
- ② リセットボタン：1 秒間程度押下することでインストーラーアプリの「作業依頼受付」を有効にできます。
クリップなどの細い棒物で押下してください。長押しはしないようご注意ください。
- ③ Ethernet ポート：Ethernet ケーブルを接続します。
- ④ LED：ゲートウェイの状態を表します。
- ⑤ MAC アドレス
- ⑥ シリアル番号、MAC アドレスの QR コード

2. 同封物について

同封物は以下の通りです。

画像 No	品名	数量
①	ゲートウェイ	1 個
②	USB 電源アダプター	1 個
③	電源用 USB ケーブル	1 個
④	Ethernet ケーブル	1 個
⑤	MAC、シリアル番号シール	2 枚
⑥	ユーザーマニュアル	1 枚
⑦	個装箱	1 個
⑧	ケーブル類 (②~④) 内装箱	1 個



3. 設置場所を確認する

ゲートウェイは遮蔽物がない見通しの良い水平な場所に設置してください。

消費電力が高い電子機器や金属製品からは離して設置してください。

新規登録を実行した場所の最適な環境をゲートウェイが自動で設定しますので、新規登録は現地でおこなうことを推奨します。

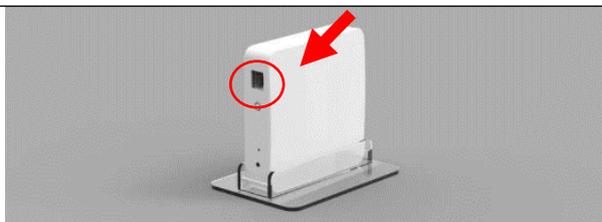
4. ゲートウェイ専用スタンド

同封物とは別途に、専用のスタンドを提供致します。このスタンドを用いることで、ゲートウェイの設置場所の省スペース化（平置き→縦置き）やゲートウェイ設置面の素材による通信アンテナへの干渉を軽減する効果※が見込めます。

※ 干渉の軽減を保証するものではありません。

スタンドを用いた設置が望ましい場合は、以下の写真を参考に **Ethernet ポートが上にくるようにして**、スタンドにはめ込んで設置してください。なお、スタンドは必ず立てて利用してください。

Ethernet ポートが上にくるようにスタンドにゲートウェイをはめ込んでください。
(下を向いている場合、スタンドの効果を十分に発揮できない場合があります。)



写真：スタンドを用いたゲートウェイの設置

5. 多段接続ルーター環境（二重ルーター環境）へのゲートウェイ設置について

ゲートウェイを接続するルーターが多段接続環境（二重ルーター状態）である場合でも本サービスは問題なく動作しますが、ルーターのメーカーやモード設定によって、ゲートウェイのネットワーク接続が正常に確立できない場合があります。

ルーター多段接続環境において、ゲートウェイのオフラインが発生する場合は、ゲートウェイを上位ルーターに接続変更するか、下位ルーターの設定を「AP モード（ブリッジモード）」に変更した上で症状が改善するかお試しください。

【ルーター側の推奨設定】

- ◆ 上位ルーター : Auto または Router モード
- ◆ 下位ルーター（多段接続の場合） : AP（ブリッジ）モード

6. 上位ルーター等の設定について

基本は上位ルーター等を特別に設定することなく利用することができますが、特殊なネットワーク配下にゲートウェイを接続する場合は、以下のポート（TCP）の開放が必要ですのでご注意ください。

開放ポート：18688、18689、18691、18692、18693、18694、18695、18696、18697、18698

※ 将来的にシステム改修等で使用する可能性もあるため、あらかじめ 18688～18800 等も開放を推奨します。

また、ゲートウェイの IP アドレスは上位の DHCP に払い出してもらう必要があります。

そのため、上位の DHCP 機能を無効にした状態下において、固定 IP アドレス（Static IP アドレス、静的 IP アドレス）では利用できませんのでご注意ください。

● ゲートウェイを設置する

7. ゲートウェイの配線をする（電源を入れる）

(1) ゲートウェイの電源を入れ、ルーターに接続する

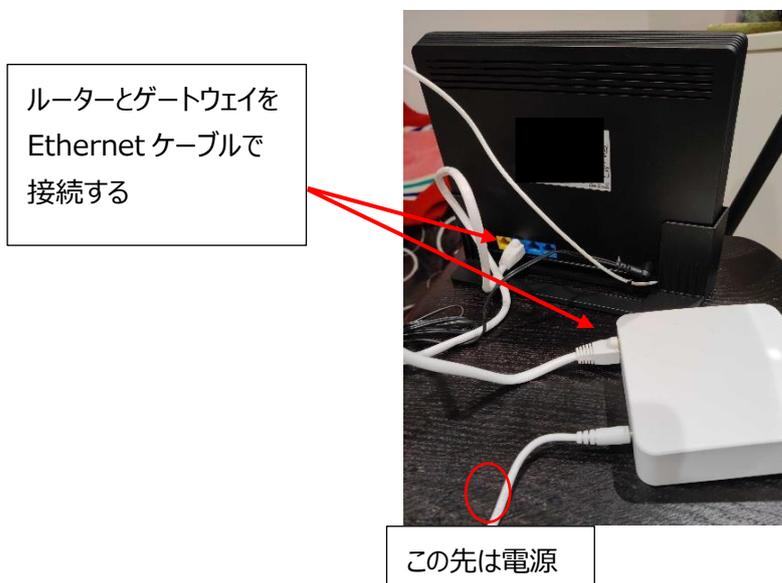
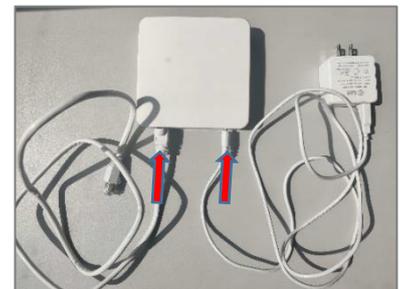
写真の通り、ゲートウェイに電源アダプターと Ethernet ケーブルを接続し、電源アダプターのコンセントプラグをコンセントに接続し、Ethernet ケーブルをお持ちのルーターに接続します。通電されると白い LED ランプが素早く点滅し、しばらく経つと白い LED ランプが点灯します。（その後ランダムにゆっくりとした点滅をします。）

※ 付属の Ethernet ケーブル以外を使用する場合は、カテゴリ 5e 以上の規格のものをご利用ください。

※ 上位のネットワークで異常があると、ネットワークが確立されていない状態でも LED ランプが点灯している場合がありますので、以降の操作でオフラインと判定された場合は再度接続状況をご確認ください。

※ ルーターのメーカーやモード設定によって、ゲートウェイのネットワーク接続が正常に確立できない場合があります。

詳しくは「[●作業の前にご確認いただきたいこと](#)」の項目をご確認ください。



(2) LED ランプが安定的に点灯すると、接続成功です。

起動時や起動完了後に LED ランプが高速で点滅を何度も継続的に繰り返す場合は本体異常が疑われます。

再起動（電源の抜き差し）をお試しいただいてもうまくいかない場合は、別のゲートウェイをお試しください。

8. インストーラーアプリでゲートウェイを登録する

「インストーラーアプリガイド」もあわせてご確認ください。

※ Taprica、Connected Portal をご利用の契約番号における登録方法です。

(1) [新規登録]ボタンを押し、登録する顧客番号を入力します。

顧客番号はそれぞれの事業者ごとに異なりますのであらかじめご確認ください。

すでに契約番号のみが発行されている場合は[契約検索]ボタンを押して(3)の手順に進んでください。

(2) 入力内容を確認の上、[登録]ボタンを押してください。

(3) 以降は「インストーラーアプリガイド」の「GW 新規登録」をご確認ください。

【うまくできないときは】

- ◆ ゲートウェイが接続されているインターネット回線が正常か確認してください。
- ◆ MAC アドレスを手入力している場合、入力間違いがないか確認してください。
- ◆ ルーターの再起動、ゲートウェイの再起動（電源の抜き差し）をしていただき、最初から登録しなおしてください。

9. インストーラーアプリでゲートウェイを削除する

「インストーラーアプリガイド」の「GW 削除」をご確認ください。

10. インストーラーアプリでゲートウェイを交換する

「インストーラーアプリガイド」の「GW 故障交換（RMA）」をご確認ください。

● デバイスをリセットする

- ◆ ゲートウェイにリセットボタンはありますが、1 秒間程度押下することで、インストーラーアプリの「作業依頼受付」を有効になるのみです。長押しをすると誤作動のもととなるため、長押しはしないようご注意ください。
- ◆ **ゲートウェイ故障交換時に RMA 操作を行う際は、必ず移行元のゲートウェイの電源をオフにしてください。**
- ◆ RMA 移行元のゲートウェイをもともとペアリングされていた Zigbee デバイスの通信範囲内で電源をオンにすると、RMA 失敗や Zigbee デバイスの誤作動の原因となります。
- ◆ 一度アカウントと紐づけたゲートウェイをほかのアカウントと紐づける場合、提供元事業者にご確認ください。